

---

# インサフィッシングボックス

とんつくたん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

インサファイツシングボックス

### 【Zコード】

Z6700Y

### 【作者名】

とんつくたん

### 【あらすじ】

この世界は何かが足りない。  
そして何かが満たされていない・・・  
なにが足りないかは俺も分からない。  
でも、俺たちには何かが足りないんだ・・・

## 第〇章〇話（前書き）

どうも初投稿です。

この物語は何かが足りなく、何かが満たされていない物語。  
果たして何かが足りない世界は何が満たされないのか、お楽しみください。

## 第0章の話

箱庭学園屋上。

「ここで俺の人生が大きぐずれ始まる」とになる。

「それでは黒神めだか、始めよつか」

「ああ始めようか巖原<sup>いはら</sup>3年生」

ここにいる黒神さん 黒神めだか

めだかちゃんはこの俺、人吉善吉の幼馴染だ。

一言で言うと化け物女。

まあその化け物女が屋上で何をこれから始めるかといふと、

生徒会活動。否、決闘だ。

まあ搔い摘んで話すと箱庭学園の生徒会長であるめだかちゃんは巖原<sup>いはら</sup>破屋と戦うことになった。

何故つて？

説明が長くなるのでそこは控させてもいい。

「めだかちゃん死ぬなよ。」

「ああ」

めだかちゃんは大きくガツッポーズをする。

「それでは行くぞ黒神めだか」

「さあこい」

殴りあう二人。

正直、俺にも何が起こうっているかいまいちわからない。

そしてわからないのはこの巖原の力だ。

力は未知数。

弱いのか強いのかすらわからない。

いつたい彼は過負荷なのか、異常なのか。

だが見る限りではめだかちゃんの勝利は決定的で、絶対的で、必然的だった。

めだかちゃんがどじめの一撃を浴びせようとした時だった。

違和感に気付いたのは・・・

厳原が無抵抗であった。

「なあ黒神、知っているか？」の世界と同じなのこの世界と全く違う世界を

「さあな！」

めだかちゃんは凄まじい一撃を厳原に叩き込んだ。

そして力なく倒れている厳原に近寄った。

「私も行けたら行ってみたかったぞ。その世界に。」

厳原は不気味に笑った。

「じゃあ飛ばしてやるよーその世界に！」

回つてはいけない運命の歯車が回りだした。

インサファイツシングボックス

0章0話完・・・

## 第〇章〇話（後書き）

初投稿ですが、面白いと思っていただけたら幸いです。

ぶつちやけ男です。

ぶつちやけ厨2病です。

よろしくお願ひします。w

## 第1章1話『LJの高校に入ってしまった』（前書き）

LJの世界にはもう彼女はない  
いや、元からいなかつた。

## 第1章 1話『この高校に入つてやる』

今日は箱庭学園の入学式だ。

俺は今日からのこの高校に通うことになった。

それは俺の幼馴染が先輩にいるからだ。

『おはよ、善吉ちゃん』

『今日から君もここに生徒だね』

そう、この人こそが俺の幼馴染で現在3年生の球磨川禊くんだ。

「よう、禊君。いつやって一緒に高校に入つてはと思つてなかつたぜ」

『ははは。僕も善吉ちゃんがこの高校に入つてくるとは思つてなかつたよ』

『今日からまたよろしくな！禊君！』

『ああ。じゃ善吉ちゃん僕は入学式の準備があるからそろそろ行くね』

『じゃーな』

禊君はこの箱庭学園の生徒会長で、支持率98%で当選したらしい。さらにスポーツ万能で、全国模試では常に1位。

俺もその凄さは小さいところから一緒にいるのによくわかる。

おそらく次の生徒会選挙でも生徒会長に立候補するものはいないので、

禊君が生徒会長だろ？

俺は入学式会場に足を運んだ。

入学式は案外あっさりと終わった。

そして入学からしばらくたち新しい学校にもなじんできたころ、ついに生徒会選挙のシーズンがやってきた。

俺は書記に立候補した。

なんと、書記に立候補したのは俺一人だった。

そして当然当選。

理由は簡単だった。

生徒会長である球磨川禊について行ける人間はそうそういない。

俺はこれから起こることを何も知らずにただ禊君と一緒に生徒会に入れた、

ということで妙にはしゃいでいた。

## 第1章「話『』の高校に入つてへむる』（後書き）

まだ序盤はつまらないと思こますが、  
後半からは厨一全開で書いていきたいと思こます。  
次回もお楽しみに・・・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6700y/>

---

インサフィッシングボックス

2011年11月20日18時02分発行